第122期 中間報告書

自 2021年4月1日　至 2021年9月30日

富士通株式会社

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

ここに第122期中間期（自 2021年4月1日　至 2021年9月30日）の報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶申しあげます。

新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申しあげますとともに、罹患された方々および生活への影響を受けられた全てのみなさまに心よりお見舞い申しあげます。また、医療関係者の方々をはじめ、社会生活の維持等にご尽力いただいている方々に、心から敬意を表し、感謝申しあげます。

富士通の経営方針

当社は「イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていくこと」という「パーパス（存在意義）」のもと、2030年の社会を想定し、社会課題を起点として7つのKey Focus Areas（重点注力分野）を、2021年4月に定め、取り組みを開始してきました。

そして、パーパス実現のための取り組みをより具体的な活動とするため、2021年10月には、新たな事業ブランド「Fujitsu Uvance（フジツウ ユーバンス）」を策定しました。今後はこの「Fujitsu Uvance」のもとで、Key Focus Areas（重点注力分野）を展開し、サステナブルな世界の実現に向け、社会課題の解決にフォーカスしたビジネスを強力に推進していきます。詳細につきましては、P3「TOPIC」をご参照ください。

2021年度中間期の業績

当中間期の売上収益につきましては、前年に実施した北米や欧州での事業再編および国内の携帯電話販売代理店事業の譲渡、ならびに前年のテレワーク対応需要の反動による減収影響がありましたが、テクノロジーソリューションは全てのサブセグメントで増収となったことに加え、デバイスソリューションも半導体需要の高まりにより、電子部品の売上が好調に推移し、前年同期から311億円の増収となりました。

営業利益につきましても、成長投資を積極的に拡大したことに加え、部材供給遅延の影響はありましたが、テクノロジーソリューションおよびデバイスソリューションにおける増収による利益の増加や、テクノロジーソリューションにおける採算性の改善、デバイスソリューションにおける電子部品の需要増加に伴う操業改善により、利益率が改善しました。また、これらに加え、事業譲渡に関する利益の計上やビジネスモデル変革費用の負担減少の影響もあり、全体としては増益となりました。当中間期の業績の詳細につきましては、P2「2021年度中間期の連結決算概要および2021年度の業績見通し」をご参照ください。

株主還元

中間配当につきましては、計画通り前期中間配当から10円増配し、1株当たり110円といたします。また、今年4月に設定した今年度内を取得期間とする500億円の自己株式の取得枠に基づき、当中間期までに約200億円の自己株式取得を実施しています。今後の株主還元につきましても、キャピタルアロケーションポリシーのもと、安定配当に加え、資本効率も意識した自己株式の取得を積極的に行い、総還元額を拡大していきます。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともご支援賜りたく、何卒お願い申しあげます。

代表取締役社長　時田 隆仁

2021年度中間期の連結決算概要および2021年度の業績見通し

決算ハイライト

2021年度中間期の連結決算概要 (単位：億円)

	2020年度中間期	2021年度中間期
売上収益	16,318	16,630
営業利益	622	814
当期利益	471	529
フリー・キャッシュ・フロー	1,127	1,040

＊本報告書においては、親会社の所有者に帰属する当期利益を「当期利益」として表示しております。

2021年度の業績見通し (単位：億円)

	2020年度実績	2021年度予想
売上収益	35,897	36,300
営業利益	2,663	2,750
当期利益	2,027	2,050
フリー・キャッシュ・フロー	2,363	2,100

セグメント別の概況

テクノロジーソリューション

「テクノロジーソリューション」の売上収益は、ソリューション・サービスおよびネットワークプロダクトにおける増収により、国内外の事業再編および前年の富岳出荷の反動による減収影響を補い、全体としては増収となりました。
ソリューション・サービスでは、製造業およびキャリア向けビジネスの売上増加の影響で増収となりました。
システムプラットフォームでは、システムプロダクトにおいて、前年の富岳出荷の反動による影響を受けましたが、ネットワークプロダクトにおいて、5G基地局の売上を中心に国内・海外ともに大きく伸長し、増収となりました。
海外リージョンは、北米や欧州における事業再編の影響や為替の影響を除くと、前年並みとなりました。
営業利益は、各サブセグメントにおける増収効果があったほか、採算性の改善も進みましたが、成長投資を積極的に拡大したことに加え、部材供給遅延の影響を受けたことにより、前年同期比で減益となりました。

(単位：億円)	売上収益内訳		営業利益内訳	
	2020年度中間期	2021年度中間期	2020年度中間期	2021年度中間期
ソリューション・サービス	8,389	8,454	568	566
システムプラットフォーム	2,804	2,867	67	158
海外リージョン	3,349	3,466	△8	51
共通	△613	△659	△183	△364

ユビキタスソリューション

「ユビキタスソリューション」の売上収益は、携帯電話販売代理店事業の譲渡による連結除外の影響に加え、前年の新型コロナウイルス感染症の影響を受けたテレワーク対応需要の反動により減収となりました。
営業利益は、減収影響により、前年同期比で減益となりました。

デバイスソリューション

「デバイスソリューション」の売上収益は、半導体需要の高まりに連動して電子部品の売上が好調で、増収となりました。
営業利益は、電子部品の増収効果および需要増加に伴う操業改善による採算性の向上により、前年同期比で大きく増益となりました。

詳細は、当社ホームページ（https://pr.fujitsu.com/jp/ir/finance/）に掲載の「2021年度第2四半期連結決算概要」をご参照ください。

TOPIC

サステナブルな世界の実現を目指す新事業ブランド「Fujitsu Uvance」

当社は、2021年10月に、「イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていくこと」というパーパスの実現を目指す新事業ブランド「Fujitsu Uvance（フジツウ ユーバンス）」を策定しました。

「Fujitsu Uvance」は“あらゆる（Universal）ものをサステナブルな方向に前進（Advance）させる”という2つの言葉を重ね合わせた名称で、「多様な価値を信頼でつなぎ、変化に適応するしなやかさをもたらすことで、誰もが夢に向かって前進できるサステナブルな世界をつくる」という当社の決意を込めています。

世界は、AIやデータ活用など様々なテクノロジーの進化により、目覚ましい発展を遂げている一方で、環境破壊による気候変動など、世界が抱える問題は、より深刻になっています。さらには、新型コロナウイルス感染症のパンデミックによって世界は分断され、人々の価値観や生活様式が大きく変わり、未来を脅かす問題は私たちの予測をはるかに超えるかたちで起きています。

そこで、当社は、2020年度に定めたパーパスをもとに、世界をより持続可能にするため、2030年の社会を想定し、社会課題を起点に7つのKey Focus Areas（重点注力分野）を選定しました。新事業ブランドである「Fujitsu Uvance」の対象は、Key Focus Areas（重点注力分野）となります。

このKey Focus Areas（重点注力分野）は、社会課題を解決するクロスインダストリーの4分野（Vertical Areas）と、それらを支える3つのテクノロジー基盤（Horizontal Areas）の合計7分野から構成されます。

「Fujitsu Uvance」を構成する7つのKey Focus Areas（重点注力分野）

今後、当社は、「Fujitsu Uvance」のもとで、サステナブルな世界の実現に向け、社会課題の解決にフォーカスしたビジネスを強力に推進していきます。

詳細は、当社ホームページの「Fujitsu Uvance」
日本向けサイト（https://www2.fujitsu.com/jp/uvance/）をご参照ください。

株式の状況（2021年9月30日現在）

発行可能株式総数	500,000,000株
発行済株式の総数	207,001,821株
資本金	324,625,075,685円
株主数	102,448名（前年度末比6,016名減）

大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	26,372	13.32
いちごトラスト・ピーティーイー・リミテッド	14,899	7.52
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	10,625	5.37
GIC PRIVATE LIMITED - C	5,918	2.99
JP MORGAN CHASE BANK 385632	5,746	2.90
株式会社日本カストディ銀行（信託口7）	4,504	2.28
富士通株式会社従業員持株会	4,183	2.11
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	3,519	1.78
朝日生命保険相互会社	3,518	1.78
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	3,247	1.64

（注）持株比率は自己株式を除いて計算しております。
（注）日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）、株式会社日本カストディ銀行（信託口）および株式会社日本カストディ銀行（信託口7）の持株数は、各行の信託業務に係るものです。

株式事務のご案内

株主名簿管理人 **特別口座の口座管理機関**	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先、同郵送先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 （0120）232-711（通話料無料） （9：00～17：00（土日祝日は受付を行っておりません。））
	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	＜株式事務お手続き用紙のご請求＞ 上記の証券代行部テレホンセンターのほか、三菱UFJ信託銀行ホームページからご請求いただけます。 https://www.tr.mufg.jp/daikou/
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	
定時株主総会関係	3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日および9月30日
公告方法	電子公告 当社は公告を下記ホームページに掲載しております。 https://pr.fujitsu.com/jp/ir/kk/
上場証券取引所	東京、名古屋

ご存知ですか？　配当金の口座振込制度

- 配当金のお受取りは、口座振込のご利用が便利です。
- 配当金のお受取り方法変更のお手続きは、以下までお問い合わせください。
  - **証券会社で株式をお持ちの場合：**
    証券口座を開設された証券会社
  - **証券会社で株式をお持ちでない場合：**
    三菱UFJ信託銀行株式会社

当社WEBコンテンツのご案内

株主のみなさまに、より当社の事業内容や戦略についてご理解いただくため、IRサイト等、WEBコンテンツの充実化を図っております。是非ご覧ください。

詳細はこちら　https://pr.fujitsu.com/jp/ir/

富士通株式会社
〒211-8588
神奈川県川崎市中原区上小田中四丁目1番1号
https://www.fujitsu.com/jp/

UD FONT
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK